

## 第3回 Astra!実行委員会 ディスカッション記録用紙

ルーム3

記録者:掛川

### 参加者名

井出専務理事(長野県中小企業団体中央会)、白鳥委員(国際ロータリー第2600地区)  
渡邊課長(産業労働部産業政策課)、河野課長(産業労働部産業人材育成課)  
松本教育次長(教育委員会事務局)

### ディスカッション1

【テーマ:Astra!メンバー(児童生徒の参加者)の選抜基準・選抜方法について】

・ねりにねったプラン。子ども達が長野県に帰ってくるような支援が必要。小学校高学年と中1の方、アメリカやイギリスに行きたいと意気揚々と学習。こういう人は信州以外に。でもその後、活躍した後、長野県にもどってくる。地元企業と関わらせて大学へ。世界で活躍した人も信州のよさを感じておけば、戻ってくると考えている。長野県を体験していない子は海外に出しても難しい。信州の伝統文化、伝統行事を体験していることが大切。地元で何を体験しているかが面接で重要。(白鳥委員)

→地元のよさ、面接で聞く。「長野県のよさ(すきなところ)」で作文や面接で。地域のお祭りや行事に参加していない子は、厳しいのでは。

・人口が大幅に減る先々。企業を担う人材が減っている。地域にどんな企業があるのか知りたい。その情報提供をしていきたい。親がどこで働いているかも知ってほしい。地域のスポーツ(スキー、スケート)に根差したことに取り組んでいる子や、地域行事に参加するなど、地域に参加していることが大切。地域のすばらしさが伝わる、地域を大切にした取組を作文や面接で審査したい。(井出委員)

→自分の地域でどうなってほしいか。地域にどんなよさがあるかをわかるように書いていただく。

・体験に根差した思いを選考(作文、面接)で語っていただく(河野課長)

【主な意見・アイデア】

・信州の伝統文化、伝統行事を体験していることが大切。地元で何を体験しているかが面接で重要。

・地域のスポーツ(スキー、スケート)に根差したことに取り組んでいることも大切。

・体験に根差した思いを作文や面接で語っていただく。

【印象的だった意見・キーワード】

・体験に根差した伝統文化

・伝統行事

・地域のスポーツ(スキー、スケート)